

# 和歌山スキー協通信

2011. 9. 30 (11-12 NO. 2)

## 聖地で学んだ！

### スキーのこと、スキー協のこと

9/10(土)・11(日)の両日、高野山(無量光院)を会場に関西ブロック学習交流会が開催され、関西各府県から57名が参加しました。

和歌山からは9名(小林・静川一きのくに、小浴・田辺・賀城・辻本・石倉一シュカブラ、生地・中岡一すべりや)が参加し、主管県として力を合わせて運営に力を尽くしました。

「関西ブロック学習交流会に参加して」

小林正知 (きのくに)

和歌山県スキー協が主管の関西ブロック学習交流会が高野山で開かれました。山の中だし、紀伊半島は先日の豪雨で交通も不通があったりでどれだけの人に来てくれるか、準備から運営まで中岡さんにおんぶにだっこで懸念していましたが、57名の参加で成功したことにホット胸をなでおろしています。

第1講義の「ケガをしない身体づくりとトレーニングの実際」では、股関節の重要性と四股の効用が語られました。うちのクラブでは、年齢からくる衰えでスキーを断念したり、ツアーにいけない人等が多くなっているだけに、この内容をしっかり伝達していきたいと思います。スキーに役立つだけでなく、デイサービスのボ

ランティアをするなかで「足腰をどう維持するか」が日常生活の決め手だと感じていましたが、いいヒントをもらいました。

技術や理念の講義も「自ら課題を持って取り組む姿勢や教えられる立場から、コーチの肩書きにとらわれないこと」「下手であっても生涯スポーツに取り組むことの大切さ」「大胆に視野広く」等が率直な語りで聞かれたことは感動的で、生きた教材となります。

参加者は大阪が半数近くで、指導員への挑戦者も数多く勢いを感じました。和歌山からは9名で、これからの取り組みに懸念を残す結果があらわになり、何を重点にやっていけばいいのかの答も、もらった学習会でした。



田辺祐次 (シュカブラ)

昔、空海は各地を歩き回って、この高野の地を選んだそうです。

学習交流会が開催される約一週間前に台風12号によって紀伊半島の一部の地域が大水害におそわれた。

この地に立ち、たくさんの寺院が建立されて

いる場所を見ると、災害を受けにくい処であることに気づく。

今回、講師の皆様には、お忙しい中ご苦勞様でした。

その中で、特に印象に残ったのは、岸田昌章氏のお話でした。スキーの技術論とは別な視点でスキーを考えるとというものです。ケガをしない健康な身体をいかに保つかということでした。全ての内容について理解できたのではありませんが、大変有意義な時間を過ごさせていただいた。

講師の方々からは、スキーを楽しみながら、しっかりと技術を身につけ、技術論を理解し、さらに様々な分野から見つめてみることの大切さを教えられた。同時に、スキーの奥深さも。

早朝、一の橋で司馬遼太郎の文学碑に出会い、この地は、空海によって考え尽くされた場所（聖地）であり、余人には計り知れない奥深さも併せ持っている濃密な空間がここにはあるのだと思った。

石倉さんは、後日葉書で報告を送ってくれました。栗岩氏の講義については思い違いがあるようですが、講義のなかみを自分なりにしっかり取り込もうとしている姿勢がひしひしと感じられ、スキーに対する熱い思い・スキーを通して人とつながっていくエネルギーに頭が下がります。紙面を借りて紹介させていただきます。

## 11—12 主な行事予定

(詳細については、追ってお知らせします)

- 12/16 (金) ~18 (日) 関西B初滑り
- 12/30 (木) ~1/3 (月) クラブ合同スキー
- 1/22 (日) ワンデイスキー
- 1/28 (土)・29 (日) ボードフェスタ I
- 2/4 (土)・5 (日) 関西 B 競技大会
- 2/11 (土)・12 (日) スキー協 CUP
- 2/25 (土)・26 (日) ボードフェスタ II
- 3/2 (金) ~4 (日) 全国競技大会
- 3/10 (土)・11 (日) 栄村復興 GS 大会
- 3/31 (土)・4/1 (日) ボードフェスタ III
- 4/6 (金) ~8 (日) 関西 B レベルアップ

石倉充敏 (シュカブラ)

第1講義、岸田氏にトレーニングの障害者です。

第2講義、関口氏にスキー技術を基礎・競技のすべりを必要です。

第3講義、栗岩氏にスキー協の実技・検定試験に初・中級養成を受付をはいります。

パネルディスカッション、八嶋氏・森田氏・栗岩氏を三人のクラブで、子供をさせえない、スキーヤーをかれています。



発行責任 中岡 大

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 FAX 0736-36-1358

E-mail [dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp](mailto:dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp)

携帯 090-7873-3603